

1903年、現在の群馬県伊勢崎市に生まれた須賀寿々は、関東大震災の翌年の1924年、東京美術学校を卒業して鋳金家として歩み始めた森村西三と結婚した。恋愛結婚であったことから名門森村家に認められぬままに池袋の借家に住み始める。1927年、夫・西三が新設された帝展第四部に念願の初入選を果たしたことで森村家の勘当が解け、池袋・丸山町に森村家の援助により住居・アトリエ・鋳物工場を新築、寿々は妻として、助手として西三を支える生活を送った。西三は、帝展や新文展に出品を重ねる一方で、故郷からの注文に応じ、1936年には、高崎の実業家・井上保三郎に依頼されて原型を制作した高崎白衣大観音像が建立している。しかし、戦後間もなくの1948年、西三が病気で亡くなり、夫に先立たれた寿々は、鋳金家として独り立ちする道を選択する。

夫の生前から交流のあった鋳金家の内藤春治、丸山不忘に師事した寿々は 3回の日展入選を果たし、故郷の群馬県展にも出品を始める。《うさぎ両耳花瓶》は 1977年の県展で群馬県立近代美術館奨励賞を受賞した作品で、上下が中央より広がった杵型の花瓶の中央に跳躍する兎をイメージした取っ手のついたスリムな形である。

夫・西三は、自然観察に基づいた写実的な植物模様で花瓶を飾り、生き生きとした具象的な動物の姿をモチーフとしたのに対し、寿々の関心はより抽象的で、曲線的な器のシルエットや、左右対称の持ち手の美しさに向かっていた。中国古代青銅器のように洗練された器の形は、決して奇をてらうことなく古色の輝きを放っている。

波瀾万丈な人生を生きた寿々は、森村西三亡き後、再婚した画家・田中佐一郎にも先立たれた。亡くなるまで住み続けた池袋の芸術家仲間や同郷群馬の作家たちに支えられ、寿々は佐一郎の看病のために中断していた制作を再開、1987年まで県展に数々の作品を送り出した。新収蔵の本作は、かつて佐一郎のコレクターとして寿々に出会って作品を求めた方から寄贈いただいたものである。

※この作品は9月21日から11月10日まで、コレクション展示「日本と西洋の近代美術Ⅱ」(展示室2)において展示されます。



田中寿々(1903-2001)
《青銅うさぎ両耳花瓶》1977年 鋳銅
27.0×10.0×8.0cm
高橋武雄氏寄贈

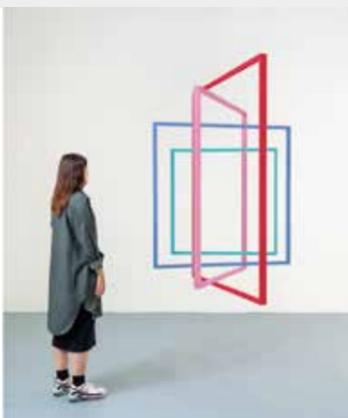
次回展覧会案内

ホセ・ダヴィラ×ジョゼフ・アルバーズ(仮)

2025年3月1日[土] - 4月6日[日]

会場：展示室5
休館日：毎週月曜日
開館時間：午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料：一般300(240)円、大高生150(120)円
*()内は20名以上の団体割引料金
*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

主催：群馬県立近代美術館
企画協力：アートオフィス シオバラ



ホセ・ダヴィラ《Homage to the Square》
2023年 ©Jose Davila

キシコ、グアダラハラを拠点に活動するアーティスト、ホセ・ダヴィラ(1974-)は、20世紀のアーティストや建築家の作品を引用、考察しながら、知的で詩情のある作品を制作してきました。特に2010年代からはジョゼフ・アルバーズ(1888-1976)のシリーズ作品《正方形讃歌》を題材とした作品を繰り返し制作しています。

ダヴィラ自身が展示構成をてがける本展覧会では、アルバーズによる《正方形讃歌》シリーズの絵画や版画作品と、それに着想を得てダヴィラが制作したセラミックやガラスの立体作品、そしてステンレススチールのモビール(天井から吊るす作品)が、建築家磯崎新の設計による当館展示室で出会えます。この機会に、どうぞご覧ください。



美術館 ニュース 群馬の森

no.198-199
2024 10/1

群馬からみる日本の美

戸方庵井上コレクション5つの扉



2024年9月21日[土] - 11月10日[日]

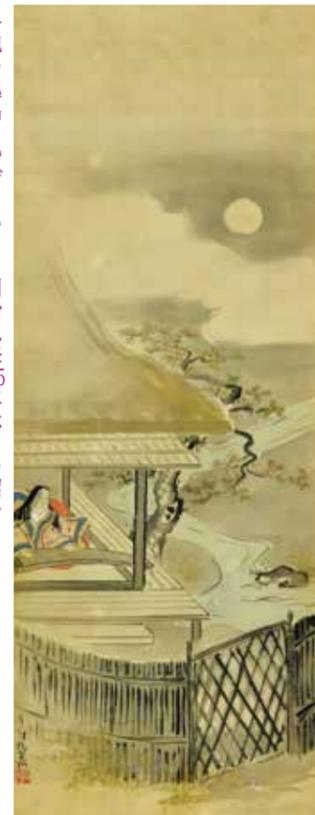
前期：9月21日[土] - 10月20日[日]
後期：10月22日[火] - 11月10日[日]
*会期中、大幅な展示替えを行ないます。

会場：展示室1
休館日：月曜日(10/28は県民の日のため開館、祝日の場合は開館し翌日休館)
開館時間：午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料：一般1000(800)円、大高生500(400)円
*()内は20名以上の団体割引料金
*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料
*群馬県民の日(10/28)に観覧される方は無料
主催：群馬県立近代美術館
助成：芸術文化振興基金

群馬県の文化振興に広く貢献された高崎市の実業家、井上房一郎(1898-1993)は、美術館での公開を念頭に長年作品を蒐集し、昭和49(1974)年の群馬県立近代美術館開館に際して、国の重要文化財を含む日本・中国の美術作品をまとめて寄贈されました。このコレクションは、井上の号「戸方庵」にちなみ「戸方庵井上コレクション」と名づけられ、現在、所蔵品の重要な柱の一つとなっています。

本展は、南宋から清時代にかけての中国絵画や、日本の室町から桃山時代の水墨画、江戸時代の琳派、狩野派の作品、さらに肉筆浮世絵などといった戸方庵井上コレクションの特色ある作品を、奥深い日本美術の世界へ誘う扉に見立て、全国各地からお借りした名品の数々とともに、5つの章により全98点ご紹介いたします。開館50周年を記念した美の競演をおたのしみください。

各地の逸品も勢ぞろい！ 明治以来115年ぶりの紹介も



尾形光琳《小督図》江戸時代 個人蔵(通期)

50周年記念事業

- 1. 開館50周年を記念し、リピーター特典として特製ポストカードをプレゼント！
本展を複数回ご覧いただくお客様に、感謝の気持ちを含めて所蔵品のポストカードをご用意しました。2回目以降のチケットの購入・引換時に本展の半券をお持ちください。
 - 2. 開館記念日(10/17)前後に様々なイベントを予定しています！
*詳細については次のページをご覧ください。
- 記念講演会
午後2時-3時30分 2F講堂 定員各回100名
*申込不要、参加無料
 - 1. 10月12日(土)
「戸方庵井上コレクションから広がる5つの世界」
講師：安村敏信氏
(北斎館館長・静嘉堂文庫美術館館長)
 - 2. 10月26日(土)
「戸方庵井上コレクション・円山応挙《青鸚哥図》と異国趣味」
講師：樋口一貴氏
(十文字学園女子大学教授・本展企画協力者)

- 学芸員による作品解説会 展示室1
*申込不要、要観覧料
9月25日(水)、10月30日(水) 午後2時-3時

- 同時開催
- コレクション展示(展示室7・山種記念館)
・「戸方庵井上コレクションのすべてⅠ」
9月21日(土) - 10月14日(月・祝)
 - ・「戸方庵井上コレクションのすべてⅡ」
10月16日(水) - 11月10日(日)

展覧会関連事業

- オープニングギャラリートーク 展示室1
*申込不要、要観覧料
9月21日(土) 午前10時30分 - 11時30分
講師：岡部昌幸(当館特別館長・帝京大学名誉教授)
- 3. 11月2日(土)
「柳橋水車園について」
講師：勝盛典子氏
(元香雪美術館・中之島香雪美術館館長)

アーティストック GUNMA 2024

群馬県立近代美術館の建築をたのしもう！

～建築家磯崎新が遺したもの～

今から50年前、1974年10月17日に開館した群馬県立近代美術館の建築は、当時新進気鋭の建築家として注目されていた磯崎新(1931-2022)の設計によるもので、翌年には日本建築学会賞を受賞しています。その後当館は増改築によって機能を拡張しながらも当初の建築コンセプトを保ち、世界的

に活躍した磯崎の初期の代表作として現在も高く評価されています。一昨年末、惜しまれながらこの世を去った磯崎新が遺した当館建築の魅力は、どこにあるのでしょうか？ 開館50周年を機に、たのしみながら一緒に探っていきましょう。

2024年10月12日 [土] ～ 11月10日 [日]

主催：群馬県立近代美術館 企画協力：前橋工科大学 白井研究室
後援：日本建築学会関東支部群馬支所

1. 建築のライティング・プロジェクト「BUILDING DIGNITY」

当館の開館記念日、そして県立公園「群馬の森」の開園記念日でもある10月17日にあわせ、当館内に原色のライトを設置し、日没後の公園に当館の建築を浮かび上がらせます。

10月12日 [土] ～ 20日 [日] 17:00～18:30 ※観覧無料

* 美術館閉館後に、館外からご覧いただけます。館内には入れません。
* 「群馬の森」はこの期間、特別に開園時間を18:30まで延長します。

企画・設計：RGB BUILDING WORKSHOP (白井敬太郎+八木健太郎)
協力：県立公園アイ・ディー・エー群馬の森



(参考図版) BUILDING DIGNITY
飯田市浜井場小学校 2018年

2. 記念トーク「山口晃少年がみた群馬県立近代美術館」

開館当初の当館を訪れた山口晃(1969年東京都生まれ、群馬県桐生市育ち)は、何を見て、何を感じたのでしょうか。そしてその経験は現在の画家としての活動にどのような影響を与えているのでしょうか。白井敬太郎(前橋工科大学准教授)による当館建築の解説とあわせ、当館を出発点として古今東西に広がる山口晃のトークをお楽しみください。

10月13日 [日] 14:00～16:00 ※要申込

登壇者：山口 晃(画家)／白井敬太郎(前橋工科大学准教授)

会場：2階 講堂

定員：180名(先着順)

申込方法：右記のQRコードを読み取り、電子申請システムLoGoフォームより申し込みください。

申込期間：2024年9月25日 [水] 9:30～(定員に達し次第受付終了)

協力：ミヅアートギャラリー



3. 「日本におけるモダン・ムーブメントの建築290選」選定プレート贈呈式

今年、当館はDOCOMOMO Japanによる「日本におけるモダン・ムーブメントの建築290選」に選ばれました。その選定プレート贈呈式にあわせて、記念講演と茶会を行います。

10月20日 [日]

[贈呈式・記念講演] 13:30～15:00 会場：2階 講堂 ※参加無料

講師：西岡弘(元西日本工業大学教授、元西岡弘建築工房主宰、元磯崎新アトリエ所員)

共催：一般社団法人DOCOMOMO Japan

[茶の湯×建築 | 群馬県立近代美術館] 12:00～16:00 会場：1階 茶室「白鷺庵」

※参加費2,000円・要申込(Peatixにて9月下旬より受付)

席主：群馬県茶道会青年部、茶道裏千家淡交会群馬県青年部

建築説明：亀井靖子(DOCOMOMO Japan 元理事、日本大学生産工学部准教授)

共催：近現代建築茶の湯会 後援：一般社団法人DOCOMOMO Japan



(特別展示) 山口晃《深山寺参詣圖》
1994年
群馬県立館林美術館蔵
[展示期間：9月21日～11月10日]

4. 建築の見どころをわかりやすく解説！

一辺12mの立方体を基本単位とする当館の建築には、磯崎新による様々ななしかけが隠されています。前橋工科大学の学生がそれぞれの目線でそのなしかけを読み解き、館内各所に解説パネルを設置します。

5. 建築をモチーフとしたミュージアムグッズをプレゼン！

前橋工科大学の学生によるアイデアを館内に掲示しますので、お気に入りの案に投票してください。投票をもとに選ばれた案は、商品化して当館ミュージアムショップで販売する予定です。

協力：朝日印刷工業株式会社

群馬県立近代美術館開館50周年記念コンサート ～50年を音楽とともにたどる～ 開催のお知らせ

友の会 だよ

日時：10月20日 [日] 17:00～18:00

会場：美術館エントランスホール

演奏：長谷川幹人(電子オルガン／伊勢崎市在住)

内容：近代美術館開館から現在までの企画展・美術館活動のスライドをご覧いただきながら、電子オルガン奏者 長谷川幹人氏の演奏で「50年の歴史」を音楽で辿ります。演奏曲目は映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」のテーマからはじまり、オリジナル曲や群馬ゆかりの八木節なども入った「ジャパニーズラブソディ」、ラヴェルの「ボレロ」、イタリア歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲、イタリア民謡「オーソレミオ」、そして日本の曲などを予定しています。

主催：群馬県立近代美術館友の会 ※申込不要、入場無料



長谷川幹人氏 演奏風景

お問い合わせ：群馬県立近代美術館 友の会 TEL 027-346-5560 (館代表) / FAX 027-346-4064

コレクション展示

[展示室2・6]

■日本と西洋の近代美術Ⅱ 9/21～11/10

当館の収蔵品より、モネやルノワールなどの西洋近代絵画ならびに彫刻、明治から昭和にかけての日本近代洋画をご紹介しますほか、特集〈池袋モンパルナスと群馬ゆかりの芸術家たち―田中寿々を巡る人間模様〉のコーナーでは、田中寿々の新収蔵作品などを展示します。



山口薫《蛸壺など》1939年

[展示室3・4・5]

■特集 コレクションのつくりかた ―現代美術編―
9/21～11/10

この春に開催した企画展「コレクションのつくりかた／つたえかた」では、当館が所蔵する日本と西洋の近代美術の名品をコレクションの成り立ちとともに紹介しましたが、本展では現代美術棟全室を使い、現代美術コレクションの全貌をご覧いただけます。



岡田謙三
《ダブル・ランドスケープ》
1974年



曾我二直庵《松猿図》江戸時代
戸方庵井上コレクション(1期)

[展示室7(山種記念館)]
■戸方庵井上コレクションのすべてⅠ
9/21～10/14

■戸方庵井上コレクションのすべてⅡ
10/16～11/10

企画展「群馬からみる日本の美戸方庵井上コレクション5つの扉」にあわせ、当館が所蔵する戸方庵井上コレクションの名品を2期に分けてご紹介します。

群馬青年ビエンナーレ 2025 作品募集

16回目となる「群馬青年ビエンナーレ」の作品募集がはじまります。今回も第一線で活躍されているアーティスト、キュレーターを審査員に迎えて開催します。皆さんの意欲あふれる作品をお待ちしています。詳細は、応募要項をご覧ください。

応募締切：2025年1月8日(水) 必着

主催：群馬県立近代美術館、上毛新聞社

協賛：株式会社原田・ガトーフェスタ ハラダ

【応募要項QRコード】



[同時募集]

群馬青年ビエンナーレ 50周年記念特別賞

「群馬青年ビエンナーレ'01」～「群馬青年ビエンナーレ 2025」の入選・入賞者を対象とする特別賞を設定します。受賞者(1名)には2026年に当館で個展を開催していただきます。

【応募要項QRコード】



主催：群馬県立近代美術館

協賛：株式会社バツファロー 代表取締役社長 牧 寛之

群馬県立近代美術館ボランティア募集！

群馬県立近代美術館では、様々な活動がボランティアの皆さんに支えられています。この度、当館ボランティアの12期生として活動して下さる方を募集します。詳細は応募要項をご覧ください(10月中旬に当館ホームページにて公開予定)。

応募締切：2025年2月28日(金) 当日必着

事前説明会：2024年12月8日(日) 14:00～15:00 当館2階 シアター

応募をご検討される方に向けて、当館ボランティア活動と研修内容についてご説明します。

※当日直接会場にお越しください。

※事前説明会への参加は必須ではありません。